

# 平成24年度事業計画・予算

東日本大震災の発生は、日本国内の経済、社会に甚大な被害を与えました。震災後1年が経過した今日、自治体はもとよりボランティア団体をはじめ様々な関係機関の支援と連携により復興支援が行われてきておりますが、完全復興にはその道程はまだまだほど遠い状況にあります。

野田市社会福祉協議会においては、野田市との連携強化を図るとともに千葉県社会福祉協議会と市町村社会福祉協議会における災害時の相互協定に基づき、引き続き千葉県社会福祉協議会との連携・協力を図ることにより必要な支援活動に取り組むこととします。

また、長引く景気低迷などによる経済社会の変化などにより、家庭、地域社会、企業等相互扶助機能が急速に低下し、貧困、虐待、孤立死、自殺など解決になかなか至らない深刻な福祉課題、生活課題が顕在化しています。

こうした社会情勢の中、野田市においては、平成22年3月に策定した「福祉の総合計画」として位置付けた「野田市地域福祉計画(改訂版)」に即した、野田市シルバープラン(第5期計画)、「第二次障がい者基本計画」が平成24年4月からスタートし、また子育て支援やひとり親への支援



サロンで「スクエア体操」(太子堂地区社協)

として「野田市新エンゼルプラン」や「野田市ひとり親家庭支援総合対策プラン」など様々な福祉計画に基づく取組を展開することとしております。

野田市社会福祉協議会では、野田市の様々な福祉計画との整合性を図りつつ、総合的・計画的な事業展開を図るために、平成23年度を初年度として策定した「野田市地域福祉活動計画(改訂版)」に基づく事業の取組を着実に推進してまいります。

- (重点事業)**
- ① 地区社会福祉協議会の活動強化
  - ② ボランティア活動の推進強化
  - ③ 福祉教育の推進
  - ④ 在宅福祉サービスの推進強化
  - ⑤ 地域福祉支援活動の充実強化
  - ⑥ 事務局体制の強化

## 平成24年度 資金収支予算総括表 (単位:千円)

区分	科目	合計	一般会計	公益事業特別会計	収益事業特別会計
經常活動による収支	収入				
	会費収入	21,249	21,249	0	0
	営業収入	6,060	0	0	6,060
	寄付金収入	353	352	0	1
	經常経費補助金収入	24,373	24,373	0	0
	助成金収入	318	318	0	0
	受託金収入	199,417	154,853	44,564	0
	事業収入	6,960	0	0	6,960
	貸付事業等収入	700	700	0	0
	共同募金配分金収入	17,335	17,335	0	0
	介護保険収入	19,918	0	19,918	0
	支援費収入	5,048	5,048	0	0
	雑収入	11	10	0	1
	受取利息配当金収入	65	65	0	0
	会計単位間繰入金収入	9,197	9,197	0	0
	経理区分間繰入金収入	9,592	9,592	0	0
	經常活動収入計(1)	320,596	243,092	64,482	13,022
	支出				
	人件費支出	199,557	163,610	34,707	1,240
	事務費支出	14,461	12,808	1,321	332
事業費支出	60,231	36,577	23,654	0	
営業支出	7,162	0	0	7,162	
貸付事業等支出	800	800	0	0	
共同募金配分金事業費	4,500	4,500	0	0	
分担金支出	0	0	0	0	
助成金支出	16,528	16,528	0	0	
負担金支出	10	0	10	0	
雑支出	1	0	0	1	
会計単位間繰入金支出	9,197	0	4,790	4,407	
経理区分間繰入金支出	9,592	9,592	0	0	
經常支出計(2)	322,039	244,415	64,482	13,142	
經常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 1,443	△ 1,323	0	△ 120	
施設整備等による収支					
収入					
施設整備等補助金収入	0	0	0	0	
施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	
固定資産売却収入	0	0	0	0	
施設整備等収入計(4)	0	0	0	0	
支出					
固定資産取得支出	880	880	0	0	
元入金支出	0	0	0	0	
施設整備等支出計(5)	880	880	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 880	△ 880	0	0	
財務活動による収支					
収入					
積立預金取崩収入	0	0	0	0	
その他の収入	0	0	0	0	
財務活動等収入計(7)	0	0	0	0	
支出					
積立預金積立支出	0	0	0	0	
その他の支出	1,725	1,725	0	0	
財務支出計(8)	1,725	1,725	0	0	
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 1,725	△ 1,725	0	0	
予備費(10)	98,097	62,493	28,573	7,031	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 102,145	△ 66,421	△ 28,573	△ 7,151	
前期末支払資金残高(12)	102,145	66,421	28,573	7,151	
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	0	

## 教えて！福祉のお仕事

～作業療法士になるには～

作業療法士は、何らかの原因为て身体の機能が障がいをもった人に、工作や手芸などの作業、生活動作の訓練などを通じて、機能の回復や機能低下の予防を図ります。

食事や洗面などの日常生活動作訓練、職業に向けての作業訓練など、幅広い援助が行われており、リハビリテーションの専門医や、ケースワーカーなど、他の専門職との連携も重要です。

作業療法士の職場は、社会福祉の分野では肢体不自由児

施設、重症心身障がい児施設、身体障がい者療護施設、重度身体障がい者更生援護施設などへの配置が規定されているほか、特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンターなどの老人福祉施設でも施設によりって配置している場合があります。

このほか、病院やリハビリテーションセンターなどの医療分野が主な活動領域です。作業療法士は国家資格で、

高校卒業後、作業療法士養成校において3年以上専門知識

や技能を修得したのち、国家試験に合格することが必要です。養成校は、4年制の大学、3年制の短期大学と専門学校などがあります。

